

平成30年度第1回遠野市総合計画審議会

— 議事概要 —

(開催要領)

- 1 日時 平成30年8月2日(木) 午後1時30分～3時30分
- 2 場所 遠野市役所本庁舎 大会議室
- 3 出席者

(1) 委員

社会福祉法人遠野市社会福祉協議会	臼井悦男	
一般財団法人遠野市教育文化振興財団	及川旺子	
遠野市消防団	松田克之	
NPO法人遠野エコネット	千葉和	
一般社団法人遠野市医師会	千葉純子	
遠野市食生活改善推進員団体連絡協議会	菊地セツ子	
遠野市体育協会	河野好宣	
遠野市民生児童委員協議会	菊池一晃	
遠野市わらすっこ支援委員会	松田希実	(代理 菊池 タキ)
花巻農業協同組合	菅原一雄	
遠野地方森林組合	濱田平八郎	
一般社団法人遠野市観光協会	三浦芳昌	
一般社団法人遠野青年会議所	三浦一	
遠野市校長会	坂下明洋	
遠野市PTA連合会	菊池圭一郎	
遠野市郷土芸能協議会	佐々木國允	
遠野市区長連絡協議会	内館充幸	
遠野市地域婦人団体協議会	海老糸子	(代理 熱海 淑子)
県南広域振興局	鈴木一史	(代理 熱海 淑子)
地域づくり団体	高宏美鈴	
遠野市金融団	石塚浩介	
遠野ひまわり基金法律事務所	沼徳之	

(2) 遠野市

市長	本田敏秋
副市長	飛内雅之
総務企画部長	鈴木惣喜
経営企画担当部長	佐藤浩一
第三セクター改革担当部長	竹内正己
健康福祉部長	鈴木英呂
子育て応援部長	佐々木一富
産業部長	大里政純
環境整備部長	千田孝喜
市民センター所長	小向浩人
教育部長	澤村一行
教育委員会参事	畑山透
消防本部消防長	小時田光行
会計管理者	鈴木純子
総務企画部総務課長	伊藤貴行
総務企画部政策担当課長	白岩克己
総務企画部財政担当課長	海老老寿子

(議事次第)

- 1 開会
- 2 辞令交付
- 3 市長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 委員及び職員紹介
- 6 副会長互選
- 7 報告
 - (1) 高速インフラの整備に伴う観光振興、交流人口拡大策について
 - (2) 中心市街地の活性化について
 - (3) ごみ減量化対策について
 - (4) 世界戦略におけるものづくり拠点について
 - (5) 東京 2020 オリ・パラ開催に向けた当市の取り組みについて
 - (6) 小さな拠点による地域づくりについて
 - (7) 高校教育のあり方について
- 8 審議
 - (1) 第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32） 平成29年度まちづくり指標実績について
 - (2) 遠野スタイル創造・発展総合戦略 平成29年度重要業績評価指標（KPI）等について
- 9 その他
- 10 閉会

(配付資料)

- 1 次第、名簿
 - 2 高速インフラの整備に伴う観光振興、交流人口拡大策について …報告資料1
 - 3 中心市街地の活性化について …報告資料2
 - 4 ごみ減量化対策について …報告資料3
 - 5 世界戦略におけるものづくり拠点について …報告資料4
 - 6 東京 2020 オリ・パラ開催に向けた当市の取り組みについて …報告資料5
 - 7 小さな拠点による地域づくりについて …報告資料6
 - 8 高校教育のあり方について …報告資料7

 - 9 第2次遠野市総合計画前期基本計画（H28～32）
平成29年度まちづくり指標実績について …審議資料 No. 1
 - 10 遠野スタイル創造・発展総合戦略
平成29年度重要業績評価指標（KPI）等について …審議資料 No. 2
- * 1～7は当日配布。

(議事概要)

1 開会

○白岩政策担当課長

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、遠野市総合計画審議会に御出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただ今から、平成 30 年度第 1 回遠野市総合計画審議会を開会いたします。私は、政策担当課長の白岩と申します。よろしくお願いいたします。

2 辞令交付

○白岩政策担当課長

まず始めに辞令交付を行ないます。本審議会におきましては各団体から推薦頂いた方を委員に構成しております。年度の異動等におきまして、新たにご推薦頂きました 4 名の皆様に辞令を交付させていただきます。

私がお名前を読み上げますので、呼ばれた方はその場に起立願います。

(菊池圭一郎委員、及川旺子委員、石塚浩介委員、三浦一委員に辞令書を交付。)

3 市長あいさつ

○市長

遠野は元気だ。所属の団体、機関が目的にしたがってしっかり動いている。官民一体が遠野スタイル。みなさんの元気につながっている。

心より感謝と御礼。平成 27 年度に第 2 次遠野市総合計画を策定。前期 5 か年、後期 5 か年の 10 か年に基づく道標に意見提言をいただきながら、総合計画として取りまとめた。

色んな面で状況が変わる。国際的な状況もふくめて、着実に進むことができているのは官民一体の仕組みが動いている。

総合計画に基づく実施計画を持っている。しっかりと着実に進まなければならない。10 年、20 年を見据えながら、遠野市の望ましい姿を標さなければならない。遠野スタイル総合戦略・創造発展戦略を打ち立てた。総合力という中で戦略。

遠野スタイル創造・戦略の言葉の中で、これからのあるべき遠野の姿を見据えながら、誤らないように道を外さないように思い付きではないように、戦略を一つ一つ形にしていかなければならない。

本日は、7 つの項目の状況がどのように動いているのか。しっかりとご説明、ご報告しながら、改めて提言ご意見をいただければ。

総合計画に基づいた K P I。指標化する。数値化することも大事なこと。市民の皆様にはわかりやすいという点では、未達成というところを説明しなければならない。

達成にいかなかったかという要因を客観的に総括し、もともとの設定に間違いがなかったかなど進捗状況を数値化し進行管理をしていく中で意見、提言を頂く。

総合計画 27 年という中でさまざまな見直しに、大胆に踏み込んでいかなければならない。

昨日、第三セクターを含め、さまざまなパートナーとしての外郭団体をどのような形に第 2 ステージに持っていく検討をしてきた。第 1 次進化まちづくり検証委員会、第 2 次進化まちづくり検証委員会。総合計画審議会の中では高校再編問題にも鋭くメスを入れていただいた。結果として県教委の判断を先送りできた。

その第 1 次進化まちづくり検証委員会、第 2 次進化まちづくり検証委員会を形にしなければならない、仕組みにしなければならないということで、しっかりとワーキングの中で、あるべき姿、再編・統合をとということで庁内にプロジェクトチームを立ち上げた。

経営改革担当部長をチーフ、産業部の部長をサブチーフ、5 人のスタッフ。9 月定例審議会・10 月 11 月ごろを目途に、ある一定の方向性を示し委員にもしっかりと説明をする体制をとる。遠野市を取り巻く課題は山積している。道路インフラを初め大きく様変わりしてきている。

総合計画の着実な前進、健全財政計画の堅実な取り組み、総合戦略に対する大胆な挑戦が必要。

先ほど仙台から戻ってきた。東北地方整備局、東北経済産業局、東北総合通信局で大幅な人事異動があったので、遠野の状況を資料として提供してきた。

東工業団地のプロジェクトについては、東北経済産業局は大変な関心を持っている。道路のコスト効果も見えてきた。東北地方整備局から遠野頑張れと言われてきた。

4 会長あいさつ

○臼井会長

夏祭り、秋祭りの準備が進んでいる。この審議会は、市の総合的な計画の策定と推進に関する調査を行い、審議し評価するために設けられている。本日は報告7件。審議2件。総合的な計画の推進に関わる重要な事項である。日頃感じていること、中身を知りたいことなどを発言していただき、それぞれの立場を超えて熱心な議論をいただき、審議会の役割を果たしていきたい。

5 委員紹介

○白岩課長

委員紹介。25名中、代理を含めて22名出席。資料確認。会議日程の説明。

6 副会長互選

○臼井会長

それでは、次第6の副会長の互選に入らせていただきます。

審議会条例第4条第1項の規定により、「審議会に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により選任する」こととなっています。

これまで副会長を務めて頂きました菅沼隆子委員は、教育文化振興財団の副理事長の職を辞されたということで、今回委員を交代されております。

そのようなことから副会長の選任を行なうものであります。

副会長の選出につきまして、どのような方法で選出いたしましょうか。皆様からのご意見をお願いします。

○河野委員

事務局案でお願いします。

○臼井会長

事務局案という意見がありましたが一よろしいでしょうか。

事務局案ということで事務局お願いします。

○白岩課長

地域づくり団体から佐々木栄洋委員を提案いたします。

○臼井会長

佐々木委員の提案がありましたがご異議ありませんか。

異議なし。

○臼井会長

それではそのようにさせていただきます。

7 報告

○臼井会長

報告に入ります。質疑はまとめていただきたいと思います。

○大里産業部長

報告 高速インフラの整備に伴う観光振興、交流人口拡大策について

○千田環境整備部長

報告 中心市街地の活性化について

報告 燃えるごみ等有料化について

報告 世界戦略におけるものづくり拠点について

○小向市民センター所長

報告 東京 2020 オリ・パラ開催に向けた当市の取り組みについて

報告 小さな拠点による地域づくりについて

○澤村教育部長

報告 高校教育のあり方について

○臼井会長

ご質問、ご意見をいただき、共通理解をしていきたい。ご質問、ご意見ありませんか。

○河野委員

駅舎の関係で、署名活動の動きがある旨報道されたが、代表者等が入っていないようだが。どのようにとらえているか。

○千田環境整備部長

地元新聞 2 社で記事が掲載された。インターネットについても、解体、取り壊しをしないで欲しいとの賛同者が増えてきているのは皆さんご承知の通り。JR 盛岡支社長、遠野市長においても基本計画について基本計画調査の協定を締結しているので、駅舎の未来を考える会の方針通り進めていくということを確認している。静観しながら進めていく。

○臼井会長

小さな拠点の活動の関係で、気になったところで、新しいコミュニティの検討で、進化まちづくりの中で提言も含めて、新しいコミュニティづくりの検討と、小さな拠点による仕組みづくりとの関係について。

自治組織との関係性が見えなくなったようにも思えるが。

○小向市民センター所長

地区まちづくり計画をそれぞれ立てて 300 万円事業を実施している。それについては地連協が事業主体。事業そのものを実施するには団体として弱い。地域を協力的に事業を進める組織、NPO 等が地区にできればよいという形で検討しているところである。

○臼井会長

新しいコミュニティと一緒に関わっていくが、人がいなくなったことが弱みにならなければよいが。

○臼井会長

それでは質疑がないようなので次に進めさせていただく。

審議に入らせていただきたいと思います。

○佐藤経営企画担当部長

審議一括説明 (1) 第 2 次遠野市総合計画前期基本計画 (H28~32)

平成 29 年度まちづくり指標実績について

(2) 遠野スタイル創造・発展総合戦略

平成 29 年度重要業績評価指標（KPI）等について

○臼井会長

全体の中で、ご質問、ご意見ありませんか。

○國允委員

大綱2の達成事業で、朝食をとる習慣のある子どもの割合、遠野市の児童の貧困率がどのくらいになっているのか。教育というのは、大脳皮質の形成といわれる時代。食生活や食べる栄養学が重要な部分となってきた。

朝食をとる習慣であると答えながら、実際はどうなっているか教えていただきたい。

○佐々木子育て応援部長

数値の取り方は、統計調査の中で中部保健所ですべてのもの、学校給食センターでも食事に関する啓発や習慣づけをしている。全体で95.1%と高い数値にはなっている。実態調査をすれば、食べてこないのか、食べてもらえないのかと様々なケースもあろうかと思う。その内部のとれなかった理由の調査は市が必要とは思っている。3食しっかり食べ、しっかりと睡眠時間をとる、早寝早起き朝ごはんの振興も図っている。

貧困率は、市内でも16%ぐらいの割合で一般的にいうところの経済収入の理由による貧困の世帯もある。16%といっても家庭の人数とか年代もある。全国的な流れの中でもその分類である。世帯収入だけにとらわれず、地域の中でサポートしながら、市の支援もある。孤立させないように状況把握しながらやっているところである。

○國允委員

高校生の状況を聞くと、朝ご飯を食べない、お昼ご飯を準備してこないという話もある。子ども達をしっかりと育てないと未来の遠野はないと考える。すべての部分で子供たちをしっかりと育てるということを考えれば、ご飯を食べる子供をしっかりとしないといけない。もう少し踏み込んだ形にしなければならないのでは。もう少しすこし突っ込んでやっていければ、授業を集中して受けられたり、スポーツも怪我をしないという結果につながっていく。もう少し踏み込んだ形の目標を立てて進めてもらえればありがたい。

○佐々木子育て応援部長

中学校までは給食が提供されるが、高校に進学してからの昼食の内容に差があるようだ。ご意見も頂きましたので、様々な方面から検討していきたい。

○臼井会長

ひまわり基金の沼先生はどうか。

○沼委員

業務に係るNo.22。交通事故発生件数。おおむね達成と出ている。交通事故はさまざまな要因が考えられる。自動車か自転車かによって変わってくるが、この辺りを把握したうえでやっているのか気になる。

○小向市民センター所長

29年度41件。28年度より1件減ってはいるが、達成率95.1%ということで0に近ければよい。警察から提供頂いた数値なので、内訳については回答出来かねる。交通安全対策協議会、交通安全協会、交通指導隊と協力しながら、交通事故を起こさないような運動を常に取り組んでいきたいと思っている。

○河野委員

No.31。がん検診について。バリウム検診は体力的に負担。自治体によってカメラかX線かの選択ができるようになってきているところもある。選択できるようにすれば、受診率もあがるように思うが、バスにはその設備はないか。

○鈴木健康福祉部長

検診車にはない。カメラは病院での受診になる。目標値は厚労省で設定している数値である。年齢を重ねた時に動くのが大変というのは聞いている。自分が動くのを嫌って受診しないかたもいる。健康福祉の里の方では、土曜日・日曜日・夕方・冬に検診の機会も設けている。忙しい人を受診しやすい環境も整えている。受診率向上に取り組んでいきたい。

○河野委員

民間で受けた人の数値は含まれていないのでは。

○鈴木健康福祉部長

民間、職場、病院で受診した人が含まれている。

○河野委員

受診率を上げるためにも、カメラで受診した人への補助等の考えは。

○鈴木健康福祉部長

人間ドック等、保険者の義務にもなる。国保の保険者に対しては、人間ドック等の上乗せは行っているところではある。他市町村の事例を参考に検討させていただきたい。

○高宏委員

NO88, 90の旅行者数、宿泊者数の部分。外国人観光客入込者数の達成率は100%を超えているが、これらの人は遠野に泊まったのか、通過する人の方が多かったのか。来年度ラグビーのワールドカップがある。釜石近辺の宿泊施設は少ないが、遠野との連携は取れているのか。アジア圏以外のインバウンド対応の考えは。

○大里産業部長

28年度と29年度で比較すると約1,000人ぐらい増えている。台湾を中心に花巻温泉に来ている外国人の流れで、ふるさと村にバスで送客してもらっている。宿泊まではしていない。あえりあの営業で、香港からの客を増やしているところである。定期便の就航で、まだまだ増えるのではという期待をしているところ。

インバウンドに関しては、パンフレットの多言語化、免税の扱い等の準備はしている。

ラグビーの関係は、宿泊よりは遠野に車をおいて釜石にバスで移動する計画である。1000台の駐車場確保の要請を受けている。ワールドカップの支援をしていく計画。

○浜田委員

救急救命士の数は、職員の数だけなのか市民を含めた数なのか。

○小時田消防長

職員51名の中の18名が資格を持っているのでその人数である。

○浜田委員

市民にはいないということか。

○小時田消防長

消防署を経由しないと県の認定にならないので、資格があっても消防機関で働いていて、県に申請しないと認定されない。現実には消防職員だけになる。

○浜田委員

No.5の中で、市税の収納率、職員数の数の指標については、どういう風になっているのか。併せて借入残高等も含めて分かれば教えてもらいたい。また、市長と語ろう会の参加数が0人だという部分。市長が現地視察しながら、把握しながら進めていると思う。語ろう会のあり方

は、どうして0なのか。

○佐藤経営企画担当部長

市民一人当たりの借入金の残高は、起債関係の事業の一番のピークは平成28年度。それから段々金額的には下りてきている。総額の借金は減っているが、人口が減っているため割り返すと多くなる。市長と語ろう会は、平成29年度は開催しなかった。ただ現場を回って、関係する団体等とは意見交換等を行った。そこで、市民の要望等は確認している。市長と語ろう会の開催については、地区を回る場合、同じ方が参加する傾向。女性や若い人が参加できる方法を考えている。過去に各団体との意見交換もかかさずしておりましたので、今後開催を検討していきたい。

○鈴木総務企画部長

平成29年度の市税等の収納率は、現年と滞納繰越分をみると、滞納繰越分の徴収率が高くなった。不動産や動産の分納制約で、徴収率が高くなった。景気の動向にも左右される。給与所得の増によるところも大きい。

職員数は、大幅に達成している。人口減少に対して職員数の減少は避けて通れない。

○臼井会長

全体的なご質問、ご意見は以上でよいか。(異議なし)

議会に提案させていただく資料としたい。ご発言いただき感謝。

9 その他

○臼井会長

9番のその他に入ります。事務局は。

○白岩政策担当課長

その他については、事務局の方からは特に何もありません。

○坂下委員

今後のまちづくり指標に提言させていただく。現在、まちづくり指標130の中で子供たちに関わる学力検査が載せているが、子供たちの意識という部分を載せてはどうか。全国学力・学習状況調査が小6、中2を対象に実施している。その結果で見えてきた遠野市の子供たちの良さは、昨年度、一昨年度以前の結果でほぼ同じであるため、今年度も同様の傾向にあるとみている。

自己肯定感：自分には良いところがあるか。将来の目標、夢は持っているかという割合。OECDの中でも日本は最下位層にあるが、遠野市の子供たちは全国を上回る傾向にある。小学生も中学生も同じ。根拠は、地域や社会を良くするために何をすべきか考えることはあるかに対して、反応が高い。

更に特筆すべきは、今住んでいる地域の行事に参加していますかの割合は、全国よりも5%以上。中学生は肯定的反応が40%、全国と比較して非常に高い傾向。遠野市の小中学校の子供たちが、地域に関心を持っている、地域の行事に興味を持っている、参加している、自分はまんざらでもないという意識が、全国の子供たちよりも高いということは、遠野市民が子供たちの育んできた成果である。子どもたちの前向きに生きている指標と考えられ、まちづくりに関わっている方、郷土芸能の人たちの励みになるのでは。

○佐藤経営企画担当部長

貴重な意見に感謝。後期基本計画の作業は来年度から着手になる。平成33年度からの後期基本計画の策定については、まちづくり指標を見直すことになる。各関係機関、各団体と意見を交わして策定していくことになるので、関係機関も含めて検討していくことにしたい。

○臼井会長

他に委員の皆様から、ありませんか。
進行を事務局に返したい。

10 閉会

○白岩政策担当課長

臼井会長、進行、ありがとうございました。

以上をもちまして、平成 30 年度第 1 回遠野市総合計画審議会を閉会いたします。本日は誠にありがとうございました。